

1. 職名・氏名 准教授・杉山友城2. 学位 学位 博士（経営学）、専門分野 地域活性、授与機関 名古屋学院大学、
授与年月 2012年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・導入ゼミ（単位数1）配当年次1 ・教養ゼミ（単位数1）配当年次1
②内容・ねらい（自由記述） ・導入ゼミ：地域の経済を学ぼう 地域経済をテーマに大学での学びに必要な「読む」「書く」「伝える」「議論する」「調べる」のスキル習得を、目指す。 ・教養ゼミ：地域創生を考えよう 地域創生をテーマに、大学での学びの礎となる能力を習得する。具体的には、①地域創生とは何か？を理解する。②越前町梨子ヶ平集落を題材にして、グループワークによる地域創生プランを検討し、提案する。③フィールドワークを通じて、現場での気づきを得る。④プレゼンテーション等を通じて、グループで検討した地域創生プランの優位性や固有性などを発見する力、他者に興味を持たせるロジカルシンキング力、ロジカルライティング力、ロジカルプレゼンテーション力を身につける。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ・導入ゼミ：可能な限り平易な表現を意識。学術的な作法（アプローチ）の基礎を、グループワークを通じて習得を促す。学生同士のコミュニケーション向上を意識した。 【ゲストスピーカー 2名】 【フィールドワーク等 1件】 ・教養ゼミ：フィールドワーク（越前町梨子ヶ平集落の魅力再発見ウォーク、越前水仙収穫等）を実施。文献調査に加えて、三現主義の重要性を、実体験を通じて、認識させる。その成果を、PPT等で地域創生プランとしてグループでまとめ、プレゼンテーションを実施。優秀なプランは、次年度の越前町における政策として採用される。他、フィールドワークの際には、マスコミにも投げ込みを行い、取材を受けることでの学習効果向上を図った（福井新聞、日刊県民福井にて、学生のコメントが取り上げられた）。 【ゲストスピーカー 1名】 【フィールドワーク等 3件】
(2)その他の教育活動
内容 ・オムニバス登壇、立命館大学大学院、先端科学技術とビジネス、2022年10月22日14:40～17:50、マクロ経済の動向と中小企業の経営実践事例 ・客員教員、福井大学大学院、経営学基礎（15コマ）

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 ・『新しい<地方>を創る—未来への戦略』、共著者有（序章、4章、終章、編著）、2022年、晃洋書房 <p style="text-align: right;">【1本】</p>
②学術論文（査読あり） 1. 「文化創造の条件に関する一考察」、共著者無、ふくい地域経済研究（32）、2022年3月 工芸などの「文化創造産業」を軸にした地域創生に注目が集まっている一方で、日本の工芸分野の弱体化が進んでいる。厳しさが増す工芸分野で創業を果たした「若州窯」（福井県若狭町・飛永なを氏）に注目し、創業前、創業後における問題や対応を聞き取り、その結果から「技能・技術、スキル」「地域環境、コミュニティ」「連携・連帯、フォローシップ」の3点を文化創造の条件として提示している。 <p style="text-align: right;">【1本】</p>
③その他論文（査読なし） <p style="text-align: right;">【本】</p>
④学会報告等 1. 文化創造の条件に関する一考察—若州窯の事例を参考に、国際文化政策研究教育学会（2021年度春季研究交流集会）（2022年3月） 工芸などの「文化創造産業」を軸にした地域創生に注目が集まっている一方で、日本の工芸分野の弱体化が進んでいる。厳しさが増す工芸分野で創業を果たした「若州窯」（福井県若狭町・飛永なを氏）に注目し、創業前、創業後における問題や対応を聞き取り、その結果から「技能・技術、スキル」「地域環境、コミュニティ」「連携・連帯、フォローシップ」の3点が文化創造の条件であることを報告した。 <p style="text-align: right;">【1本】</p>
⑤その他の公表実績 1. 「望まれる人材育成投資と付加価値の量的・質的拡大—北陸地域の「稼ぐ力」の向上に向けて」（北陸環日本海経済交流促進協議会『AJEC Warm TOPIC Vol.168（2022.NOV/DEC）』 <p style="text-align: right;">【1本】</p>
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】 ・令和4年度産業技術コーディネート事業に係る産業技術先進地調査および報告書作成業務委託業務 ・未来協働プラットフォームふくい推進事業（PBL支援分） 【学内】
(3)特許等取得
(4)学会活動等

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①-1 委員就任 (国)
①-2 委員就任 (県)
・福井県「福井駅西口地下駐車場指定管理者選定委員会」、委員長、R2.7～現在に至る
①-3 委員就任 (市町村)
・おおい町「複合型交流施設第2期改修運営PFI事業審査委員会」委員長、
・福井市「新事業創出選定評価委員会」、委員、R4.6～現在に至る
・大野市「大野市脱炭素ビジョン策定支援業務委託プロポーザル審査委員会」、委員、R4.5～R4.5
・大野市「大野市脱炭素ビジョン策定協議会」、委員長、R4.1～現在に至る
・敦賀市「敦賀市指定管理者評価委員会」、委員長、R3.2～現在に至る
・若狭町「上下水道事業経営審議委員会」、委員長、R1.10～現在に至る
①-4 委員就任 (その他公益法人等)
・ふくい産業支援センター「UIターン移住創業支援事業審査委員会」、委員長、R4.5～現在に至る
②国・地方公共団体等の調査受託等
・令和4年度産業技術コーディネーター事業に係る産業技術先進地調査および報告書作成業務委託業務、ロボット先進地(兵庫、大阪、福岡、福島、東京)の支援機関やロボット関連企業への聴き取り調査の実施と調査報告書の作成、R4.7～R4.11
・越前市特定検診結果・レセプトデータ基礎的集計分析、越前市特定検診結果等から越前市民の生活習慣病とその要因を探る、R3.8～現在に至る
③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加
・一般社団法人ふくいエネルギーマネジメント協会、理事、R3.6～現在に至る
④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内の) 企業等での活動
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
・ふくいオープンイノベーション推進機構、企画検討会議参加、H31.4年～現在に至る
⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講
⑦その他

6. 大学の管理・運営

(1)役職 (副学長、部局長、学科長)
(2)委員会・チーム活動
(3)学内行事への参加
・創立30周年記念ホームカミングデー、10月8日
・創立30周年記念「地域経済研究フォーラム」、10月26日
(4)その他、自発的活動など